

# 映画上映会

## ユートピアと記憶の亡霊： 東南アジアのドキュメンタリー映画

2018年  
**7月28日(土)**  
13:30 ~ 18:00

### 趣旨

東南アジア(シンガポール、マレーシア)の現体制下において、封印されている過去の記憶をドキュメンタリー映画によってよみがえらせる試みとして、近年注目を集めた二つの作品を紹介します。『不即不離』は1948年に反政府ゲリラとして射殺された祖父の思い出を探ること、今なおマレーシアで公に語る事が憚られるマラヤ共産党に迫ろうとしたドキュメンタリーです。『シンガポールへ、愛をこめて』は監督自ら聞き手になり、「国内治安法」を逃れ海外に居住する亡命者の思いを描いて、2014年に国内上映禁止措置を受けました。

※入場料無料、事前申込不要、日本語字幕付きです

### プログラム

13:30

あいさつ：越野剛（北海道大学 SRC）

13:40

解説：坂川直也（京都大学）

14:00

ラオ・ケクフアット監督

『不即不離：マラヤ共産党員だった祖父の思い出』  
(2016年、台湾、84分)

15:40

タン・ピンビン監督

『シンガポールへ、愛をこめて』  
(2013年、シンガポール、70分)

17:00

解説：盛田茂（立教大学）

17:30

質疑応答（18時終了）



会場：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター  
4階大会議室 (403)

連絡先：越野 [gkoshino@slav.hokudai.ac.jp](mailto:gkoshino@slav.hokudai.ac.jp)

### 科研費

\*本上映会は日本学術振興会科学研究費基盤研究 B  
「社会主義文化と身体イメージ：ユーラシアにおける  
英雄・女性・死者の表象比較研究」(代表：田村容子)による企画です。

\*それぞれの映画の上映開始時間は多少前後する可能性があります。

### アクセスマップ



※駐車場はありません。公共交通機関でお越し下さい。